

R4年度の事業報告書

R4年4月1日からR5年3月31日まで

法人名 特定非営利活動法人ブエンカミーノ

1 事業の成果

本年は、「中国5県休眠預金等活用事業」2年目、に引き続き、中央共同募金会赤い羽根基金「居場所を失った人への緊急活動応援助成」の採択を受け、兼ねてよりリフォームを進めてきた岡崎邸（亀山8-19-18）を『地域交流フリースペース OKAZAKI』として年内にオープンさせることができた。地域多世代の孤立予防を目的として、0歳から100歳までが集う、楽しい、繋がる居場所として活動を11月より本格スタート。地域の交流拠点として活動を開始した。

新型コロナウイルスの影響も落ち着きを取り戻し、合宿型のワークキャンプなどを再開。大学入学以降コロナによって対面活動の自粛を余儀なくされてきた学生らが久々の対面活動に喜ぶ機会を提供することができた。

共同生活・農業研修を通じた若者自立支援事業においても引き続き感染症に気を付けながら活動を継続。家庭裁判所からの委託事業を通じての受け入れや、外国人農業実習制度でトラブルに見舞われた実習生の受け入れ、40代の無業状態にある若者など、さまざまな背景をもつ若者らが共に生活を送った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業名)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
就労訓練事業	農業を通して就労に必要な体力や社会的スキルを身に付ける	(A) 年中 (B) 安芸高田市八千代（農場）、安佐北区亀山（農場） (C) スタッフ4名 ボランティア5名	(D) 広島市、及び全国の概ね若者 (E) 54人	2,000千円

共同生活事業	団体シェアハウスにて共同生活をしながら、対人コミュニケーションや、生活スキルを身に付ける	(A) 年中 (B) 安佐北区亀山(シェアハウス) (C) スタッフ4名 ボランティア1名	(D) 広島市、及び全国の概ね若者 (E) 17名	2,000 千円
農業体験事業	収穫祭、若者ワークキャンプ、キッズイベントなど。地域の多世代交流を目的として自然体験事業	(A) 年2回 (B) 安芸高田市八千代(農場)、安佐北区亀山(農場、古民家) (C) スタッフ3名 ボランティア16名	(D) 広島市在住の全ての年代 (E) 500名	500 千円
フリースペース事業	地域交流フリースペース OKAZAKI の運営 *コミュニティカフェ *子育てサロン *子どもの第三の居場所 *農業ボランティア *フリースペースの提供など	(A) 月・水・金 10:00~16:00 (B) 安佐北区亀山8-19-18 (C) スタッフ2名、ボランティア20名	(D) 安佐北区亀山中学校区、及び近隣住民 (E) 700名	6,550 千円

計 11,050 千円

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載 した事業名)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の金額 (単位：千円)

計.....千円

(備考)

- 1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。